

夏休み 新聞切り抜きコンクール に挑戦してみませんか

- ①新聞切り抜きコンクールとは
- ②おススメする理由
- ③取り組みの流れ



NIE(Newspaper in Education=「エヌ・アイ・イー」と読みます)は、学校などで新聞を教材として活用する活動です。兼山小は、R6・7年度、岐阜県NIE実践校に選ばれました。

①新聞切り抜きコンクールとは

主催：中日新聞社 [新聞切り抜き作品：中日新聞Web \(chunichi.co.jp\)](http://chunichi.co.jp) より

- 「新聞切り抜き作品」とは、毎日の新聞の中から興味や関心のあるテーマに沿った記事を切り抜いて集め、模造紙（B紙）に貼り付けて、見出しや意見・感想を書き入れて完成させる「世界で一つだけの新聞」です。
- 学習指導要領の「探究的な学習」の4つのプロセス「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」を、作品作りによって体験できるからです。作品作りでの「テーマの設定」「新聞記事の収集」「記事の分類・整理」「レイアウト・まとめの執筆」が各プロセスに当たります。作品の作り方の動画や説明文を見て、ぜひチャレンジしてください！

②おススメする理由

- 子ども新聞ではないので内容は難しいけれど、ペラペラ紙面をめくっていると、ハッと自分の**知的好奇心**を揺さぶるような記事に出会うことがあります。
- **ネット**は便利ですが、自分の興味関心に**偏った情報**に留まっていく傾向になりがちです。
- その点、**新聞記事の内容は実に様々**です。地域・岐阜県・日本・世界、人間の話題から動物、環境、宇宙・・・様々な話題に**視野を広げることができます**。
- そうやって自分で集めた記事を読み取り、テーマを決めてさらに情報を集め、情報を選択します。テーマについて自分の考えを文字にします。この作業は、**読解力・表現力・発信力**を鍛えることになります。これがおススメする理由です。

③取り組みの流れ 担当:校長

- 1 7月18日まで、参加者を全学年から募ります。【条件あり】
- 2 参加者の集まり具合をみて、説明会を行います。
- 3 夏休み、金管バンドの練習が終わってから学習会を開きます。
 - *お盆前は、とにかく新聞記事を集めます。
 - *後半は、記事を選びテーマを決め、模造紙にまとめます。
- 4 「2」から始め、「3」を通して夏休み中に1枚の作品を完成させます。

【条件】 「3」の学習会に参加する場合、送迎は保護者ができること。

家庭で保護者も記事の読み取り・解説に協力できること。

*新聞は学校でも用意できます。

*新聞切り抜きコンクールの締め切りは、R7年1月です。夏休みの作品を出展することもできます。新しい作品を創ることもできます。(参加賞あり)

最後に・・・

この企画は参加者1名から行います。

0人ではできません。校長先生発案だからと忖度する必要はありません。

「やってみたいな」という人がいたら、一緒に取り組みましょう。新しいことです。夏の冒険です。